



Handsome

Handsome CONTENTS

December 2015

NETSU
LINK TO THE FUTURE

2015.12 No. 323

巻頭記事 11月例会開催

11月例会を終えて

ビジネス経営委員会 委員長 松井 淳一

OB訪問

(有)研創板金

演 勇二郎OB(第31期ご卒会)

県青中40周年year ~縁を紡ぐ~

平成27年度 親睦交流会

特集 イベント事業レポート

中海圏域青年経済団体交流事業

第67回 中小企業団体中央会全国大会

委員会活動報告 中央会発掘委員会

連載

突撃!今晚の乾杯メニュー 奥森 秀夫 委員長

仕事への熱を語る 安達 孝宏

卒会者からの教え 古谷 一朗

会員当てクイズ この人はだれだ!?

発行人/鳥取県西部中小企業青年中央会 会長 松田 幸紀

編集責任者/担当 副会長 廣谷 栄一 制作・編集 41期広報委員会/委員長 権田 和志 印刷所/東京印刷(株)

~11月例会開催~

11月16日(月)米子全日空ホテルに於いて、11月例会が開催された。



冒頭、松田会長の挨拶があり、「ニュースでフランス同時多発テロが取り沙汰されているが、繰り返される悲劇について憤りや悲しみを感じる」と話された。

又、「県事業と中海圏域事業について多数の参加があり、会の力を見せつける事が出来たと同時に非常に嬉しく思う」と述べられた。

そして、本例会のM&Aについて、「8月に東京で開催されたM&Aセミナーに参加した。多くの人がM&Aに関心を持っていて、成功事例や失敗例の話聞いた。日本の中小企業数が約400万社と言われているが、約140万社が後継者不足で苦しんでいる。我々はまだまだ若いからこの事を考え、M&Aの事を知り、それを活用するのの一つの考え方だと思う」と述べられた。

続いて、高坂新入会員のバッチ授与が行われ、高坂新入会員から「これから皆さんと交流し、新しい刺激を受けながら成長していきたい」と挨拶があった。

委員長タイムでは広報委員会の権田委員長から、味屋コーポレーションの紹介と

して、会社概要や店舗紹介の他、中海一周ウォーキングにより社員・取引先・ボランティアの方との交流について紹介がなされた。

そして、第41期ビジネス経営委員会による例会が始まった。始めに松井委員長から主旨説明がなされ、「M&Aは企業を存続する上で重要な事だが、地方ではセミナーが少ない。中小企業版のM&Aをわかり易く描写し、M&Aの後も計画通りに人を動かすにはどうしたら良いかを寸劇形式で紹介する」と説明があった。



まず、第一部では「企業を買い取る(譲り受ける)という成長」~中小企業版のM&A相場や交渉の術を知る~という題目で、きのこ屋のミカモ社長がひよんな事からカラオケ事業に興味を持ち、カラオケ企業ホクトのハマダ社長と交渉しながらM&Aを結ぶまでの経緯を紹介した。

ここでは、事業継承の局面として第三者的な会社への承継(売却)を想定し、希望売却額の相場はキャッシュフロー(EBITDA)の5倍である事。EBITDAとは営業利益+減価償却の事。企業を購入する際はデューデ

リジェンス(様々な観点から調査)するためのチェックポイントで評価する事。希望買取価格の相場は有利子負債を考慮し、株式価値で計算する事。株式価値は=企業価値(EBITDAの3~5倍)-有利子負債(+現預金)という事。株式価値の算定方法は比準方式や収益方式、純資産方式等がある事。また、鳥取県の事業承継の実態は74.4%が後継者不足という事を学んだ。

第二部では「組織の力を最大限に活かす」~組織の陥り易い罠を人の心理から知る~という



題目で、M&Aの後に思い通りに事業がいかない事について、組織的な問題点が3つ(What, How, Do)である事、スターバックスコーピーのような自立型組織(自分で課題を改善して責任感や愛社心を高める)とジーンズメイトのようなピラミッド組織(すべき事と報酬を明確にして意欲を高める)の成功事例紹介、3つ組織管理法である結果管理・行動管理・心理管理がありメリットとデメリットがある事について学んだ。

そして、最後に千石副会長より「私達にとって、M&Aは決して無縁なものでない。近い将来、後継者問題や事業拡大でM&Aに直面した際、本例会で学んだことを思い出して欲しい」と締めくくられた。

(記事:足立匡)

11月例会を終えて

ビジネス経営委員会 委員長 松井 淳一



当委員会はビジネスにちなんだ手作りの例会をやろうということで、中小企業版のM&Aと組織行動学についての寸劇を企画・実施しました。第一部のM&Aでは、企業を売る側・買う側の株式価格の決定プロセスや交渉に至るまでの経緯を、第二部では、第一部で大金はたいて買った会社が計画通りに結果が出ていないという設定で、どうすれば組織は計画通りに動いてくれるのかを寸劇で描写しました。

今回の例会では、寸劇を通してM&Aの計数感覚を知ってもらいたいという思いがあり、本当に意図したことが伝わるのだろうか?という不安が実施前にはありました。ですが実際に例会を終えてみて、例会のみならず、懇親会でもかなりの質疑応答や好評判を頂き、それなりに手応えを感じることができました。

また、今回の例会を通じまして委員会メンバーには本当に感謝申し上げたいと思います。アドリブが入るぐらいの寸劇の力入れや、立看板・映像・配置図など細部に至るまで、例会のクオリティを上げる努力を最後までして頂いたことが非常に嬉しく思います。次回の5月例会では、100%出席を目指して頑張りたいと思っています。引き続き、皆様のご協力宜しくお願い致します。

県青中40周年year
～縁を紡ぐ～

平成27年度 親睦交流会開催

まず始めに、10月31日(土)に森の国大山フィールドアスレチックで開催された県青中親睦・交流事業に多数ご参加いただき誠にありがとうございました。

100名を超える参加会員を各地区混成チームに分け、チームごとに終日過ごしたことで、地区の垣根を越えた交流を深め、「縁を紡ぐ」事が出来たのではないのでしょうか？

1部では、チーム対抗の綱引き大会を行いました。いざ、綱を持ち敵と対峙すると、一気に熱を帯び、運動不足の体からでも力がみなぎってくるようです。一戦一戦がガチンコ勝負となり、選手も応援者も楽しめる競技となりました。



2部では、綱引き大会の景品である豪華食材と共にチームごとにパーベキューを行いました。ア



ルコールが潤滑剤となり、強烈な個性を持った他地区の会員の寸劇に大いに盛り上がり、チーム対抗のミニゲームを行いながら、会話が弾み、地区同士の距離がグッと縮まったと感じました。

私自身、県出向理事としての初事業でした。不慣れな点が多々あり、他地区の会員、西部の会員のアドバイスに助けられ実施できたことは、非常に良い経験となりました。また開催にあたり、ご多用のなか、当日まで準備にご協力いただいた委員会メンバー・県出向理事をはじめ関係者の皆様に深く感謝申し上げます。ありがとうございます。(記事:三嶋真)

平成27年度中海圏域青年経済団体交流事業

11月8日(日)に安来市民体育館にて、中海圏域青年経済団体交流事業が開催された。今年はサブテーマが「我に七難八苦な球技大会」と題され、3団体によるスポーツ交流が行われた。

3団体の会員を均等に5チームに振り分け「ソフトバレーボール」と「ソフトドッジボール」を行い、2競技の合計勝数で優勝を争った。競技の名前を見ると非常にさわやかな印象だが、サブテーマは「我に七難八苦」である。試合の中盤、その時点で勝っているチームは指令カードを引き、その指令に従わなければならない。指令の内容は(変装して競技をする)といったユニークなものから(現在の得点が反対になる)など勝敗を左右するものまで様々あり、指令が出る度に会場は大いに盛り上がった。

競技終了後はさぎの湯荘に場所を移し、表彰式・懇親会が行われ各団体の親睦を深めた。また懇親会の前には「温泉タイム」も設けられ、3団体による裸の付き合いも繰り広げられた。

今回、当会からの参加者は3団体の中でも最多数となり、これには主幹団体であった安来Y E Gの西村会長も「中央会を見習っていききたい」と感心されていた。そのような言葉をいただけたのも、今回の事業を担当した総務委員会の「熱」が全会員に伝わったからではないだろうか。(記事:山内)



回の事業を担当した総務委員会の「熱」が全会員に伝わったからではないだろうか。(記事:山内)

卒会者からの教え

「中央会とはワークショップである」

古谷一朗会員

(平成18年3月入会)

入会して早くも9年ですが、色々学ぶことがあります。今でこそパソコン社会で、色々なことを検索して情報を入手できますが、中央会では自分が参加し、考え、体験して情報・友人を得られた会だと思います。中には自分にとって関係ないと思うような内容もあるかも知れませんが、ただその内容を会の中で議論することによって、自分自身にない考え方や他の人の考え方を身に着けられます。25歳から45歳、また業種も違いますので物の考え方が違って当然だと思いますが、毎年委員会ごと知っていることや知らなかったことを1から学んでいき、最終的に結論まで持っていき1つになるのを感じます。

委員会・例会と最低月2回は集まります。仕事上参加するのが難しい時もありますが、やはり対面し同じ空間を共有することが大切だと思います。中央会に入ったからこそ出会った人が数多くいます。会員のみなさんは現役やOB、他団体との交流を通じて良かったことも悪かったことも、得た体験を自分の糧として成長して行ってほしいと思います。



安達 孝宏会員 仕事への熱を語る



皆様、こんにちは。中央会発掘委員会の安達孝宏です。

私は、日吉津村にあります株式会社タイヨー通信という電気通信業の会社に勤めています。名刺にも「IT社会のサポート企業」なんて書いてありますが、何をしている会社？と思われるのではないのでしょうか。弊社は、トランシーバーやタクシー無線といった業務用無線、市町村の防災行政無線を中心に、監視カメラ、ケーブルテレビ、LAN、WiFiなど情報通信関連全般の販売、施工、保守を行っています。変わったところでは、警察のスピードチェッカー(ネズミ捕り)の保守も行っていきます。

私は主にタクシー・バス会社の営業を担当しており、GPSを利用した車両位置管理システムや、お客様の情報が即座に確認できる電話受付システムなどを販売、保守しています。業種柄、24時間365日の対応が求められますので、夜中や休日に連絡があることも・・・。しかしながら、いつでもどこでもお客様が困っているのであれば、すぐに対応するのがタイヨー通信のモットー!!これからも、地域のオンリーワン企業を目指し、情報・サービス・商品を通じて、地域社会に貢献できるよう頑張ります。

第67回 中小企業団体全国大会

11月20日(金)、第67回 中小企業団体全国大会が沖縄コンベンションセンターで行われた。今回のテーマは「団結は力 見せよう組合の底力! ~組合で広がる中小企業の発展~」で、当会からは14名の参加者があり、大会後の夜は東部・中部と合同の大懇親会が執り行われた。

1日目は車で神戸空港まで移動した後、竹ノ内監事と三輪副会長が合流。那覇空港へと向かった。到着後の感想は「暑い!!」。神戸空港までは肌寒かったのに、流石は沖縄。温帯と亜熱帯の違いを肌で感じた。



2日目の式典は全国からの参加者が約3,000人と盛大に執り行われた。表彰式や審議・決議が行われた他、休憩時にはアトラクションとして琉球舞踊が披露され、大盛況のなか幕を閉じた。その後は「生簀の銀次」にて合同懇親会を開催。店内には魚拓がずらりと並び、地元の食材を惜しみなく使った料理が振舞われ、「食」の沖縄をじっくりと堪能した。

3日目はゴルフ組、観光組に分かれ、那覇空港に集合。名残を惜しみつつ帰途についた。基地問題に揺れる沖縄。レンタカーでの移動中も戦闘機が飛び交い、戦争と常に隣り合わせの環境に驚いたし、現地の方のお話が聞けたことは大変有意義だったと思う。なかなか気軽に行ける場所ではないが、また来たいと思える街だった。(ちなみに神戸空港に到着後の感想は「寒っ!!」でした。)



(記事:高田)

【委員会活動報告】

掘削!!掘って掘って掘りまくれ~

中央会発掘委員会

中央会発掘委員会、一体どんな活動をしているのだろうか?と多くの会員が思っていたでしょうが、10月の例会でその一端は分かって頂けたのではないのでしょうか。我々の今までの委員会活動は、主に過去事業の発掘でした。西部青年中央会40年の歴史を振り返り、先人たちが行った活動の中から、興味深く、現役会員にとっても有益なものを発掘し、例会にて発表させて頂きました。



今後の活動は委員会内にて検討・協議中ではありますが、今度は現役会員自身をもっと掘り下げていければと思っています。当会は総勢約100名からなる多様な業種の人材が集まっています。普段触れることのない他業種の方から業界の裏話や、為になる話を語り合える機会を作れないかと考えています。もしかしたらどなたか出演の依頼をさせて頂いていただくことがあるかもしれませんが、その時はぜひ快く引き受けて頂ければ幸いです。

また新入会員オリエンテーションも当委員会の担当です。今年度も多くの優秀な新入会員が入会してきています。新入会員が当会について分かりやすく、楽しく学べるよう、オリ資料の刷新に向けて、現在、当委員会員一丸となって取り組んでいる最中です。

中央会発掘委員会は今後も中央会を掘削し続けて参りますので、宜しくお願い致します。

(記事:副委員長 田中 猛)

!!◎B訪問!!

有限会社 研創板金 濱 勇二郎OB (第31期ご卒業)



中田耕治OBに紹介して頂き、濱勇二郎OBの有限会社研創板金にお伺いしました。

中央会に平成10年11月(第24期)に入会され、平成17年(第31期)にご卒業されました。その7年間を振り返るように「目の前の事しか見ていなかった自分が、中央会という組織に入って諸先輩方を見て先輩みたいになりたい、そうなるにはどうしたらいいだろうかと、自分なりのやり方で40代、50代の在り方を考えるようになった。」と中央会での思い出を語られました。

当時、会長である中本高夫OBのもと第30期まちづくり委員会の委員長を務められました。委員会活動として米子市と境

港市の合併について色々考える事ができた。境港は中海圏域(人口70万人)の経済の人口である、我々個人が一踏ん張りして町の個性を活かす事で1つの市としてやっていくのに十分に可能性があるかと熱くお話しして頂きました。

最後に現役会員にメッセージをお願いしたところ「仕事に中央会に大変ではあるが、自分の居やすい環境を作り、楽しくするのも、つまらなくするのも自分次第である。」というお言葉を頂きました。

ご多忙中、取材に快く応えていただき有難うございました。

(記事:新井)



石井(北島)美佳さん 子育て取材

現在、育児のため当会を休会されている石井(旧姓北島)会員のお子様会に、あつかましくもご自宅に伺ってきました。

2015年9月17日 体重3,384g、陣痛40時間の戦いの中、予定日ぴったりで元気に生まれたそうです。

石井会員にとって初めてのお子様の名前は、寛祐(かんすけ)くん。その名前の由来を聞いたところ、寛はご主人から一文字。祐は神に通じるという意味があるとお父さんが仰っていたので、その字をつけたそうです。

出産から2ヶ月たち、現在の生活は2時間おき位に寛祐君が起きるので夜も寝られない日々だそうです。「1人で大変ですね」と聞いてみたところ、大分、今の生活に慣れてきたし、ご主人がかなりの子供好きらしく、面倒をよく見てくれるので大丈夫との事です。

それと「子供が生まれる前と後では何か違いますか」と質問したところ、「自分の時間がなくなった。みんなでお酒を飲みたいし、買い物にも行きたい。でも、今しかできない事、子供と向き合える時間を大切にしたいという思いのほうが強いです」と話されました。

いろいろと話をしていると、暖かい家庭の石井家が想像でき、幸せな気持ちを分けて頂きました。石井会員、早い復帰をお待ちしています。ありがとうございました。

(記事:森下)



Q&A 会員当てクイズ



この人はだれだ!?



(本人よりひとこと)
 23歳の時の写真です。子供の頃からの夢が叶った瞬間です。
 これからも夢を持ってキラキラ輝ける女性でありたいです。中央会では、人間性を磨き、見聞をひろめたいと思います。
 よろしくお願ひ致します。

答えはホームページをCheck!!

お誕生おめでとう



村田 芙徠^{ふく}くん

(村田 博会員の第3子)
2015年9月29日生まれ

第3子として9月29日に産声をあげました。名前は、くる・ふくという事で芙徠(フク)に命名致しました。前日がスーパームーン(関連があるのかなのか...)という事で、体重は3,490グラム!出生率の増加に奮闘中です!!



木嶋 絢都^{あやと}くん

(木嶋 康之会員の第3子)
2015年10月5日生まれ

名前の通り美形男子となり、将来は父親の超える立派なチャラ男になってくれればと思います。初めての子でとても心配でしたが、無事に生まれてきてくれたことに感謝です。

突撃! 多晩の乾杯メニュー

【第4回】奥森 秀夫委員長

総務委員会の奥森です。いやー、突撃されちゃいました。とりあえず我が家の家族を紹介させていただきます。



妻(自称:優香)、娘9歳(僕に似て美人)、息子5歳(甘えたのイケメン)そして2世帯で住んでいますので父(奥森隆夫詳細は会員手帳にて)、母(美人)という家族構成です。



週2日、3日は家を空ける僕の代わりに家庭を守っている妻、それをサポートしてくれている父、母にはいつも感謝しています。たまに帰る私を笑顔で迎えてくれる子供達にも元気を貰っています。

この度、記事を書く機会を頂き改めて子供の成長の早さ、家族のありがたさを感じました。

家族の時間も出来るだけ作って行こうと書いている横で嫁が「無理でしょー」と言っております。(笑)

増井OB 藤本会員結婚披露宴

10月31日、当会OBの増井幸一さんと現役会員の藤本満梨子さんの結婚パーティーがホテルサンルート米子で開催されました。

発起人代表の北口智明OB、土岐哲己OB、森脇哲雄OBを始めとする多くの方が祝福に駆け付け、お二人の人柄の伝わる盛大なパーティーとなりました。とても幸せそうで少し照れくさそうなお二人。これからも末永いお幸せをお祈りしています。

(記事:橋本)



12月役員会報告

12月役員会が平成27年12月1日(火)松濤園にて開催されました。主な議題は以下の通りです。

- ・11月例会報告の件
- ・12月例会開催の件
- ・1月新年例会開催の件
- ・その他

※なお、詳細につきましては各委員長までご参照ください。

12月例会案内

と き:平成27年12月15日(火) 19:00~22:50

と ころ:ホテルサンルート米子

内 容:第1部 講演会「地域を知る~大山の魅力と風景~」

第2部 忘年懇親会

担 当:第41期 広報委員会

新入会員

(総務委員会)



高坂 詠史 AB型
 株式会社カミナリ 営業チーフ
 広告代理店
 〒683-0804 米子市米原6-1-14
 TEL 31-3548 FAX 21-7548
 (KT) 090-5704-0587
 (EM) kousaka@kaminariman.jp
 山口(尚) S 53.06生

〈コメント〉この度入会させて頂くことになりました、株式会社カミナリの高坂と申します。活動を通じ異業種の方々との交流からさまざまな刺激を頂き、自分を成長させ会の一員として地域社会に貢献して参りたいと思います。よろしくお願ひ致します。

編集後記

広報委員会として約半年。要領が分かり、初めに比べ編集会議も短時間で終わるようになりました。でも編集会議が一番お腹のすく時間。つついおやつを食べながら作業を進めまします。ダイエット企画を始動したのに太る一方です。今月から本格的にダイエットに励み、10kg減を目指し頑張っていきます! (橋本 真和)